

# 学生生活 楽しそう！

鶴尾小児童 香川大訪問し交流



大学生にコツなどを教わりながら、バルーンアートに挑戦する児童たち＝高松市幸町、香川大

ップでは、児童たちは学生から手順やコツなどを教わりながら、懸命に犬や花、剣など思い思いの作品を作り上げた。

4年の森岡希心君(10)は「大学に入ったのは初めて。広くてたくさん教室があり、いろいろな勉強ができる楽しそうなどころだと思った」と話していた。

高松市松並町の鶴尾小学校(田中義人校長)の児童が同市幸町の香川大学を訪れ、教育学部の学生らと交流した。子どもたちは大学の授業の雰囲気を経験した

り、学生と一緒にバルーンアート作りに挑戦したりして、キャンパスでの一日を楽しんだ。

同校のキャリア教育の一環で、2019年から同大生を学校に招くなどして交

流活動を実施。今回は児童に大学について理解を深め、将来の進路選択に役立ててもらおうと、同大を訪問するツアー形式で7月27日に行った。

3～6年の34人が参加。階段状に机が並ぶ講義室に座って授業の雰囲気を味わったり、食堂で学生と一緒に昼食を食べるなどして、大学生活の一端を体験。バルーンアートのワークショップ